

平成27年中における自殺者の実態について (暫定値)

秋田県警察本部
生活安全企画課

- 1 平成27年中の自殺者数は278人で、前年と比較して1人(0.4%)増加しました。
- 2 年代別では、50代と70代がそれぞれ52人(18.7%)で最も多く、次いで80歳以上が49人(17.6%)と続いています。
- 3 65歳以上の高齢者は131人(47.1%)となり、前年と比較して14人増加となっています。
- 4 男女別では、男性が198人、女性が80人となっています。
- 5 原因・動機別では、健康問題が111件(34.6%)で最も多く、次いで経済・生活問題が40件(12.5%)と続いています。
- 6 職業別では、無職者(学生・生徒を含む)が185人(66.5%)で最も多く、次いで被雇用者・勤め人が64人(23.0%)、自営業・家族従事者28人(10.1%)となっています。
- 7 月別では、最多が8月の30人で、最少は11月の15人となっています。

※ 平成19年に警察自殺統計の集計要領が改正され、遺書等で自殺を裏付ける資料により明らかに推定できる原因・動機について、1人につき3つまで計上することができることとなったため、原因・動機別数と自殺者数とは一致しません。

※ 職業別の学生・生徒については、大学生、専修学校生等(予備校生・専門学校生等)も含まれます。

平成27年中における自殺者の実態について

1 概要

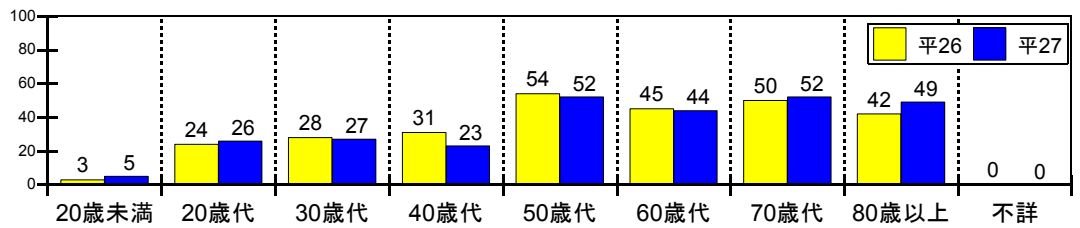
平成27年中の県内における自殺者は278人で、前年と比較して1人(0.4%)増加した。このうち高齢者(65歳以上)は131人で、全体の47.1%を占めており、前年比で14人増加している。

| 年 別 | 平成26年 | 平成27年 | 増 減 |
|------|-------|-------|-----------|
| 自殺者数 | 277人 | 278人 | +1人(0.4%) |

2 特徴等

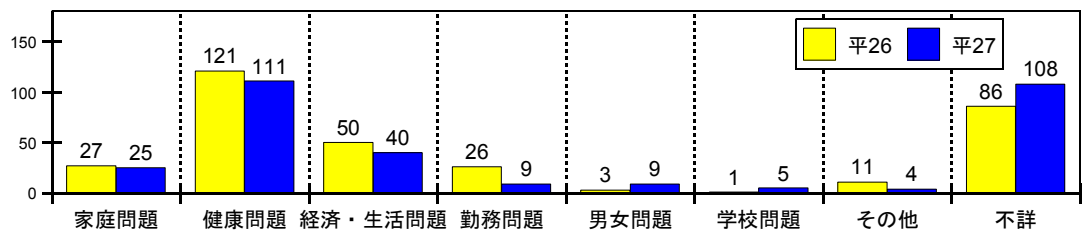
(1) 年齢別

50代と70代がそれぞれ52人(18.7%)で最も多く、次いで80歳以上が49人(17.6%)である。



(2) 原因別

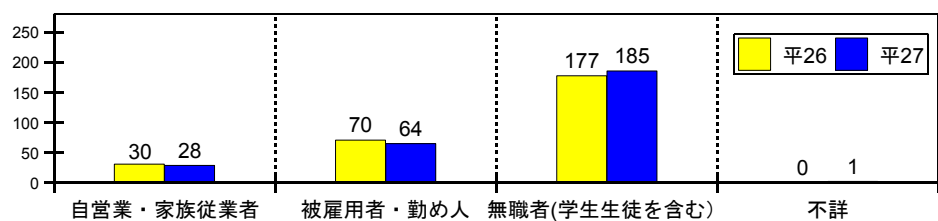
健康問題が111件(34.6%)で最も多く、次いで経済・生活問題が40件(12.5%)である。



※ 原因・動機別については、複数計上のため自殺者数とは一致しない。

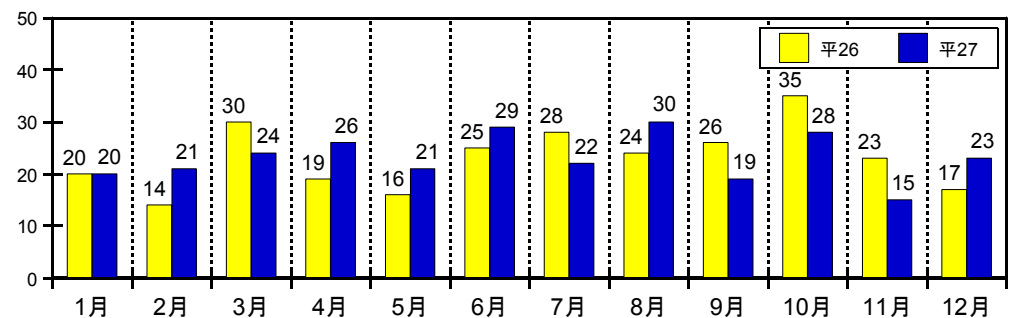
(3) 職業別

無職者(学生生徒を含む)が185人(66.5%)で最も多く、次いで被雇用者・勤め人が64人(23.0%)、自営業・家族従業者が28人(10.1%)である。

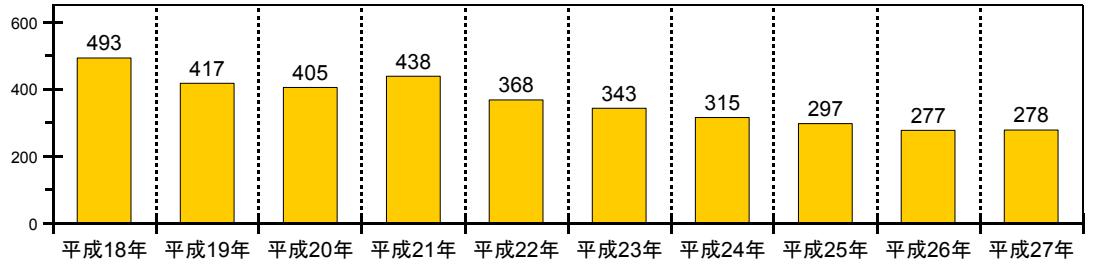


(4) 月別

最多が8月の30人で、最少は11月の15人となっている。



(5) 過去10年間の自殺者数



| | 平成18年 | 平成19年 | 平成20年 | 平成21年 | 平成22年 | 平成23年 | 平成24年 | 平成25年 | 平成26年 | 平成27年 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 自殺者数 | 493 | 417 | 405 | 438 | 368 | 343 | 315 | 297 | 277 | 278 |
| 前年比 | | -76 | -12 | 33 | -70 | -25 | -28 | -18 | -20 | 1 |

(6) 各警察署取扱件数

大仙警察署が43人で最も多く、次いで秋田中央警察署が31人、横手警察署が30人である。

